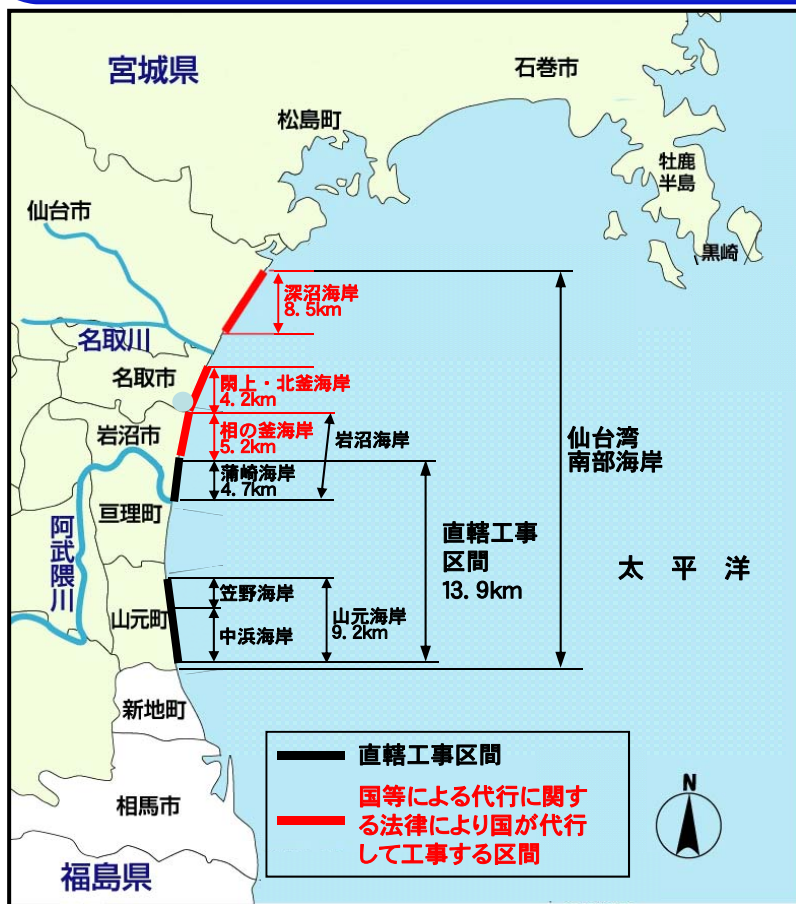


仙台湾南部海岸の概要



【仙台湾南部海岸位置図】

【はじめに】

仙台湾南部海岸は宮城県仙台市から福島県境までの3市2町にまたがる延長約65 Kmの海岸で、背後地は商業、工業などの産業の集積も著しく、東北地方の中核拠点となっています。

平成12年度から海岸侵食の著しい岩沼市の岩沼海岸（蒲崎海岸）、山元町の山元海岸を国土交通省直轄工事区間として海岸保全施設の整備を進めてきました。

平成23年3月11日の地震による津波で仙台湾南部海岸では、全ての区間で津波が海岸堤防を越流し、押し寄せる津波や引き波により、堤防決壊や消波ブロックの飛散、堤防裏法面の流出、背後地盤の洗掘など甚大な被害を受けました。

仙台河川国道事務所では、このような未曾有の災害で被災した海岸堤防など、海岸保全施設の復旧を進めています。

仙台湾南部海岸 沿岸5市町の県内に占める位置づけ(宮城県内シェア)

※5市町:仙台市・名取市・岩沼市・巨理町・山元町

	面積 (km ²)	人口 (千人)	農業生産額 (百万円)	製造品出荷額等 (百万円)	年間商品販売額 (百万円)
宮城県全体	6,862	2,333	192,940	3,568,922	10,601,386
沿岸5市町	1,034	1,186	25,590	1,346,306	8,626,383
シェア	15.1%	50.8%	13.3%	37.7%	81.4%

仙台湾南部海岸の現状

【仙台湾南部海岸の現状】

- 仙台湾南部海岸はH23.3東日本大震災により海岸保全施設が未曾有の被害を受けた。
- 宮城県が管理していた仙台海岸、名取海岸、岩沼海岸(相ノ釜海岸)が権限代行として国が復旧工事を行うことになった。
- H23.8までに約20kmの区間において堤防を緊急的に応急復旧した。
- H29年度末をもって完了している。

